

量で被服型の寛裕とあいまって衣服気候は概して良好とみなされるが単袍の被服型の過大は機能性を減少し材質の堅牢性ととも検討の余地があると思われる。

38. 上代被服（正倉院宝物中衣類）の衛生学的研究（予報）

奈良女子大 水梨サワ子

1. 正倉院宝物衣類を衛生学的見地より調査し模作被服により着装実験を行ない上代被服の気候調節効果を検討し、以て現代被服の機能性に裨益したい。

2. 正倉院文書により勤勞階級の平服の一つとして写経生の官給品をとりあげ文書の記述と使用後返却されて現存する御物とを照合して、材質・型・構成を調査し夏衣料一揃を模作してサーミスター・鋭感湿度計にて衣服気候を測定した。

3. 写経生の夏衣料一揃は軍袍・汗衿・単袴・褌・水褌であって用尺の多量にかかわらず材質が綿のためか軽